



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月8日

上場会社名 株式会社 宮崎太陽銀行
 コード番号 8560
 代表者 取締役頭取 宮田 穂積
 問合せ先責任者 常務取締役経営企画本部長 河野 知憲

上場取引所 福証
 (URL <http://www.taiyobank.co.jp/>)

TEL(0985)24-2111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成20年3月期 第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	4,303	(7.4)	530	(8.0)	296	(12.6)
19年3月期第1四半期	4,006	(1.3)	491	(4.8)	262	(13.9)
19年3月期	17,111		2,706		1,074	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	5	55	—	—
19年3月期第1四半期	4	93	—	—
19年3月期	20	16	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	563,918	30,267	5.3	568 12
19年3月期第1四半期	553,061	28,163	5.0	528 39
19年3月期	556,920	29,823	5.3	554 10

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除した比率であり、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準を定める件」(平成18年金融庁告示第19号)に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

なお、銀行法に基づく「連結自己資本比率(国内基準)」については8ページをご参照下さい。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
	第1四半期末	
(基準日)	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

平成19年5月15日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	8,600	(4.0)	1,200	(11.6)	350	(△ 10.7)	6	56
通期	17,000	(△ 0.6)	2,500	(△ 7.6)	1,000	(△ 7.0)	18	76

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明、その特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金収入の増加を主因に、前年同期比2億97百万円増加の43億3百万円となりました。また、経常費用は預金利息など資金調達費用の増加を主因に前年同期比2億57百万円増加の37億72百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比39百万円増益の5億30百万円となりました。

四半期純利益は、前年同期比34百万円増益の2億96百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

法人等預金は減少したものの、個人預金は引き続き順調に推移した結果、預金は前年同期末比121億90百万円増加し、5,247億72百万円となりました。

貸出金は、個人向け貸出を中心に前年同期末比77億66百万円増加し、3,783億43百万円となりました。

有価証券は、前年同期末比9億86百万円増加し、1,066億69百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期までの損益状況は順調に推移しており、平成19年5月15日発表の中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項ありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

① 貸倒引当金の計上基準

貸倒引当金については、19年6月末の自己査定結果に基づき引当てておりますが、一般貸倒引当金及び破綻懸念先の個別貸倒引当金については、19年3月期に使用した貸倒実績率等を適用して算出しております。

② 法人税等の計上基準

法人税等の税金費用については、簡便的に法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しており、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」の合計相当額を「税金費用」として四半期連結損益計算書に表示しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項ありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表
 (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末) (A)	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末) (B)	比 較 (A-B)	(参考) 平成19年3月 期末 (C)	比 較 (A-C)
(資産の部)					
現 金 預 け 金	11,274	16,620	△ 5,346	11,972	△ 698
コ ー ル ロ ー ン	42,300	32,600	9,700	42,000	300
買 入 金 銭 債 権	1,914	2,121	△ 207	1,555	359
商 品 有 価 証 券	33	167	△ 134	80	△ 47
有 価 証 券	106,669	105,683	986	100,296	6,373
貸 出 金	378,343	370,577	7,766	378,666	△ 323
外 国 為 替	—	—	0	0	0
そ の 他 資 産	8,051	7,660	391	7,057	994
有 形 固 定 資 産	15,562	15,759	△ 197	15,610	△ 48
無 形 固 定 資 産	324	366	△ 42	348	△ 24
繰 延 税 金 資 産	2,996	3,752	△ 756	3,181	△ 185
連 結 調 整 勘 定	—	6	—	—	—
支 払 承 諾 見 返	1,831	4,573	△ 2,742	1,960	△ 129
貸 倒 引 当 金	△ 5,383	△ 6,828	1,445	△ 5,808	425
資 産 の 部 合 計	563,918	553,061	10,857	556,920	6,998
(負債の部)					
預 金	524,772	512,582	12,190	518,177	6,595
借 用 金	668	764	△ 96	733	△ 65
外 国 為 替	0	0	0	—	0
そ の 他 負 債	3,138	3,800	△ 662	2,981	157
役 員 賞 与 引 当 金	—	—	0	14	△ 14
退 職 給 付 引 当 金	1,598	1,521	77	1,588	10
再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	1,641	1,655	△ 14	1,641	0
支 払 承 諾	1,831	4,573	△ 2,742	1,960	△ 129
負 債 の 部 合 計	533,650	524,898	8,752	527,096	6,554
(純資産の部)					
資 本 金	5,752	5,752	0	5,752	0
資 本 剰 余 金	4,344	4,344	0	4,344	0
利 益 剰 余 金	14,051	13,188	863	13,888	163
自 己 株 式	△ 67	△ 56	△ 11	△ 65	△ 2
(株主資本合計)	(24,081)	(23,229)	(852)	(23,920)	(161)
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	4,039	2,828	1,211	3,776	263
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	△ 15	△ 29	14	△ 15	0
土 地 再 評 価 差 額 金	1,841	1,862	△ 21	1,841	0
(評価・換算差額等合計)	(5,865)	(4,661)	(1,204)	(5,601)	(264)
少 数 株 主 持 分	320	272	48	301	19
純 資 産 の 部 合 計	30,267	28,163	2,104	29,823	444
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	563,918	553,061	10,857	556,920	6,998

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 記載金額は、中間決算に準じた処理を行い算定したものでありますが、一部の決算処理を簡便化して算定しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期) (A)	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期) (B)	比 較 (A-B)	(参考) 平成19年3月期
経 常 収 益	4,303	4,006	297	17,111
資 金 運 用 収 益	3,146	2,908	238	11,849
（うち貸出金利息）	(2,605)	(2,454)	(151)	(10,197)
（うち有価証券利息配当金）	(492)	(448)	(44)	(1,574)
役 務 取 引 等 収 益	501	516	△ 15	1,971
そ の 他 業 務 収 益	508	480	28	1,925
そ の 他 経 常 収 益	147	100	47	1,364
経 常 費 用	3,772	3,515	257	14,404
資 金 調 達 費 用	347	103	244	766
（うち預金利息）	(336)	(81)	(255)	(694)
役 務 取 引 等 費 用	284	269	15	1,089
そ の 他 業 務 費 用	555	502	53	1,959
営 業 経 費	2,213	2,211	2	8,766
そ の 他 経 常 費 用	371	428	△ 57	1,823
経 常 利 益	530	491	39	2,706
特 別 利 益	369	68	301	0
特 別 損 失	310	0	310	77
税金等調整前四半期(当期)純利益	589	559	30	2,629
法人税、住民税及び事業税	—	—	0	1,130
法 人 税 等 調 整 額	—	—	0	363
税 金 費 用	273	260	13	—
少 数 株 主 利 益	20	36	△ 16	61
四 半 期 (当 期) 純 利 益	296	262	34	1,074

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 記載金額は、中間決算に準じた処理を行い算定したものでありますが、一部の決算処理を簡便化して算定しております。

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当四半期（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

(単位：百万円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計
平成19年3月31日残高	5,752	4,344	13,888	△ 65	23,920
当四半期中の変動額					
剰余金の配当 (注) 2.			△ 132		△ 132
四半期純利益			296		296
自己株式の取得				△ 1	△ 1
自己株式の処分					
土地再評価差額金取崩額					
株主資本以外の項目の当四半期 中の変動額 (純額)					
当四半期中の変動額合計	—	—	163	△ 1	161
平成19年6月30日残高	5,752	4,344	14,051	△ 67	24,081

(単位：百万円)

	評 価 ・ 換 算 差 額 等				少数株主 持 分	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土地再評価 差 額 金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	3,776	△ 15	1,841	5,601	301	29,823
当四半期中の変動額						
剰余金の配当 (注) 2.						△ 132
四半期純利益						296
自己株式の取得						△ 1
自己株式の処分						
土地再評価差額金取崩額						
株主資本以外の項目の当四半期 中の変動額 (純額)	263			263	18	281
当四半期中の変動額合計	263	—	—	263	18	443
平成19年6月30日残高	4,039	△ 15	1,841	5,865	320	30,267

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 平成19年6月の定時株主総会の利益処分による配当であります。

(4)セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

I 当四半期（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日） (単位：百万円)

	銀行業	リース・ 保証等事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
経常収益						
（1）外部顧客に対する 経常収益	3,725	574	3	4,303	—	4,303
（2）セグメント間の内部 経常収益	20	91	40	153	(153)	—
計	3,746	666	44	4,456	(153)	4,303
経常費用	3,256	630	37	3,925	(152)	3,772
経常利益	489	35	6	531	(0)	530

II 前年同四半期（自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日） (単位：百万円)

	銀行業	リース・ 保証等事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
経常収益						
（1）外部顧客に対する 経常収益	3,445	553	7	4,006	—	4,006
（2）セグメント間の内部 経常収益	21	100	25	147	(147)	—
計	3,467	653	33	4,154	(147)	4,006
経常費用	3,035	595	31	3,662	(147)	3,515
経常利益	431	58	2	492	(0)	491

III (参考) 前連結会計年度（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日） (単位：百万円)

	銀行業	リース・ 保証等事業	その他の 事業	計	消去又は 全社	連結
経常収益						
（1）外部顧客に対する 経常収益	15,127	1,968	14	17,111	—	17,111
（2）セグメント間の内部 経常収益	89	402	207	699	(699)	—
計	15,217	2,370	222	17,810	(699)	17,111
経常費用	12,660	2,234	204	15,099	(694)	14,404
経常利益	2,557	136	17	2,711	(5)	2,706

(注) 1. 連結会社について、事業活動の関連性等を考慮して区分の上、一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

2. 事業の区分

- (1) 銀行業……………銀行業務
- (2) リース業・保証等事業……リース業務・信用保証業務等
- (3) その他の事業……………銀行事務代行業務・ベンチャーキャピタル業務

[所在地別セグメント情報]

在外子会社及び在外支店がありませんので、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[国際業務経常収益]

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

6. その他の情報

(1) 損益の状況【単体】

(単位：百万円)

	20年3月期		19年3月期 第1四半期 (3カ月間)	20年3月期 中間期予想 (6カ月間)	19年3月期 通期実績 (12カ月間)
	第1四半期 (3カ月間)	前年同期比			
経常収益	3,746	279	3,467	7,600	15,217
業務粗利益	2,995	△ 33	3,028		11,990
資金利益	2,813	△ 5	2,818		11,149
役務取引等利益	185	△ 29	214		845
その他業務利益	△ 3	1	△ 4		△ 3
経費（除く臨時処理分）(△)	2,197	12	2,185		8,766
実質業務純益（一般貸倒繰入前）	798	△ 44	842	1,500	3,224
コア業務純益	833	△ 22	855	1,500	3,249
① 一般貸倒引当金繰入(△)	△ 367	△ 292	△ 75	0	△ 326
業務純益	1,165	247	918	1,500	3,550
うち国債等債券損益	△ 35	△ 23	△ 12		△ 25
臨時損益	△ 308	103	△ 411		△ 993
② 不良債権処理額(△)	—	△ 14	14	500	1,493
(貸倒償却引当費用①+②)	—	—	—	(500)	(1,167)
株式関係損益	△ 272	△ 275	3		508
経常利益	489	58	431	1,100	2,557
特別利益	369	308	61		0
うち貸倒引当金戻入益	369	309	60		—
四半期（当期）純利益	290	30	260	350	1,065

(注) 1. 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 上記の数値は監査法人による監査を受けておりません。

第1四半期までのコア業務純益は833百万円を計上し、中間期業績予想比進捗率55.5%と順調に推移しております。一方、貸倒償却引当費用は一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金ともに戻入益となり、四半期純利益は290百万円（中間期業績予想比進捗率82.9%）を計上いたしました。

第1四半期における業績は順調に推移していることから、平成19年中間期及び通期の業績予想については、平成19年5月15日の公表計数どおりといたします。

（２）「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」（部分直接償却実施後）

【連結】

（単位：百万円）

（参考）（単位：百万円）

	平成19年6月末	平成18年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	6,190	7,553
危険債権	5,209	4,741
要管理債権	3,180	4,364
小 計 (A)	14,580	16,659
正常債権	368,980	359,050
合 計 (総与信)	383,561	375,709
開示債権 (A)の総与信に占める割合	3.80%	4.43%

平成19年3月末
6,181
5,277
3,769
15,227
368,566
383,794
3.96%

【単体】

（単位：百万円）

（参考）（単位：百万円）

	平成19年6月末	平成18年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,811	7,321
危険債権	5,111	4,298
要管理債権	3,180	4,364
小 計 (A)	14,103	15,985
正常債権	373,093	363,150
合 計 (総与信)	387,196	379,135
開示債権 (A)の総与信に占める割合	3.64%	4.21%

平成19年3月末
5,776
5,177
3,769
14,723
372,545
387,269
3.80%

（注） 1. 上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリー（以下「開示区分」という。）により分類しております。

2. 平成19年6月末及び平成18年6月末の開示区分の金額は、各々を基準日とする自己査定債務者区分に基づく残高を計上しております。

※開示区分と自己査定債務者区分との関係

- ・破産更生債権及びこれらに準ずる債権（実質破綻先、破綻先の債権）
- ・危険債権（破綻懸念先の債権）
- ・要管理債権（要注意先のうち、元本又は利息の支払が3カ月以上延滞しているか又は貸出条件を緩和している債権）

（３）連結自己資本比率（国内基準）

（参考）

	平成19年9月末（予想値）
連結自己資本比率	8.4% 程度
連結Tier I比率	7.4% 程度

平成19年3月末（実績）
8.33%
7.26%

（注）上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

（４）時価のある有価証券の評価差額【連結】

○評価差額

(単位：百万円)

(参考) (単位：百万円)

	平成19年6月末				平成18年6月末				平成19年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	93,198	6,340	7,930	1,589	91,601	4,738	6,727	1,989	86,375	5,892	7,489	1,596
株式	20,000	6,112	6,974	862	19,360	4,982	6,091	1,109	19,222	5,556	6,581	1,024
債券	63,405	△ 385	319	705	63,335	△ 336	459	795	57,465	△ 78	452	530
その他	9,791	613	635	21	8,905	92	176	84	9,686	414	455	41

- (注) 1. 株式及び受益証券については、各四半期末（期末）前1カ月の市場価格等の平均に基づく時価、債券については各四半期末（期末）日の市場価格等に基づく時価により、それぞれ評価したものであります。
2. なお、満期保有目的の債券及び子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

（５）デリバティブ取引【連結】

①金利関連取引

該当ありません。

②通貨関連取引

(単位：百万円)

(参考) (単位：百万円)

区分	種類	平成19年6月末			平成18年6月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	為替予約	—	—	—	—	—	—	10,089	58	58
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計		—	—		—	—		58	58

③株式関連取引

該当ありません。

④債券関連取引

(単位：百万円)

(参考) (単位：百万円)

区分	種類	平成19年6月末			平成18年6月末			平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	債券先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	債券店頭オプション	5,000	△ 5	△ 5	6,000	28	28	—	—	—
	合計		△ 5	△ 5		28	28		—	—

⑤商品関連取引

該当ありません。

⑥クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

（6）預金等、貸出金の残高【単体】

①預金等残高（末残）

（単位：百万円）

（参考）

（単位：百万円）

	19年6月末			18年6月末	19年3月末
		18年6月末比	19年3月末比		
預 金	524,857	12,204	6,589	512,653	518,268
うち個人預金	377,967	16,046	9,347	361,921	368,620
流動性預金	139,122	6,150	6,023	132,972	133,099
定期性預金	238,844	9,895	3,323	228,949	235,521
うち法人等預金	146,889	△ 3,842	△ 2,759	150,731	149,648
流動性預金	73,712	△ 11,998	△ 9,240	85,710	82,952
定期性預金	73,176	8,156	6,481	65,020	66,695
譲渡性預金	—	—	—	—	—
計	524,857	12,204	6,589	512,653	518,268

（注）法人等預金には、公金預金・金融機関預金を含んでおります。

②貸出金残高（末残）

（単位：百万円）

（参考）

（単位：百万円）

	19年6月末			18年6月末	19年3月末
		18年6月末比	19年3月末比		
貸 出 金	382,106	7,973	△ 186	374,133	382,292
中小企業等貸出金残高	331,253	3,908	△ 6,900	327,345	338,153
個人ローン残高	106,805	3,344	1,547	103,461	105,258
うち住宅ローン	93,666	3,632	1,736	90,034	91,930
うちその他ローン	13,139	△ 287	△ 188	13,426	13,327
中小企業等貸出金比率	86.69%	△ 0.80%	△ 1.76%	87.49%	88.45%

（7）国債・投資信託等の預り資産残高【単体】

（単位：百万円）

（参考）

（単位：百万円）

	19年6月末			18年6月末	19年3月末
		18年6月末比	19年3月末比		
預り資産残高	59,675	18,580	3,617	41,095	56,058
公共債	29,988	9,187	1,250	20,801	28,738
うち個人	25,676	6,617	805	19,059	24,871
投資信託	21,725	7,913	2,140	13,812	19,585
うち個人	21,195	7,812	2,110	13,383	19,085
個人年金保険	7,961	1,481	227	6,480	7,734

以 上